



2022年度 行事報告

・第38回研究大会(2022年6月4日、京都経済センター)

大会テーマ:「自然災害の諸相と予見可能性」

開会の辞: 仲上 健一(当学会会長、立命館大学 OIC 総合研究機構上席研究員、名誉教授)

自由論題報告

「農業水利施設の維持管理にみられる地域性と地域的差異-金沢市の土地改良区を事例として-」

山下 亜紀郎(筑波大学)

基調講演

「水循環基本法の改正と流域治水関連法の体系的位置づけ-地下水の関連施策を中心として-」

宮崎 淳(創価大学)

テーマ論題報告

①「淀川水系治水構想の源流と現在」

中川 晃成(龍谷大学)

②「流域治水関連法-流域治水に向けての『一里塚』-」

梶原 健嗣(愛国学園大学)

総合討論

コーディネーター: 奥田進一

パネリスト: 宮崎 淳、中川 晃成、梶原 健嗣、秋山 道雄(滋賀県立大学名誉教授)

報告記事は、[ニューズレター87号](#)に掲載しています。

・夏季現地研究会

新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、中止としました。



・2022 年度冬季研究会(2023 年 3 月 4 日、オンライン開催)

テーマ:「琵琶湖・淀川・大阪湾の水資源・環境問題の諸相と政策的課題」

総合司会:仁連 孝昭(成安造形大学客員教授)

基調報告「琵琶湖・淀川・大阪湾の水資源・環境問題の諸相

ー「水資源開発」から「水環境保全」へー

秋山 道雄(滋賀県立大学名誉教授)

コメント①「水資源開発計画の視点から」

仲上 健一(当学会会長、立命館大学 OIC 総合研究機構上席研究員、名誉教授)

コメント②「淀川の歴史的・文化的視点から」

三輪 信哉(大阪学院大学)

報告記事は、[ニューズレター88号](#)に掲載しています。